

会議録

会議の名称	平成15年度第5回(仮称)西東京市リサイクルプラザ市民懇談会
開催日時	平成16年3月26日午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	東分庁舎地下1階 会議室
出席者	中島光雄座長、加藤真子副座長、一方井寿子、大森とみ、篠原明美 鈴木春枝、北村律子 各委員 (欠席 徳田節子委員) (事務局) 小川環境防災部参与、山本環境保全課長、青柳環境保全課長補佐 高橋ごみ減量推進課主査、桜井ごみ減量推進課主任
議題	(1)(仮称)西東京市リサイクルプラザの事業・施設内容について (意見等の集約) (2)(仮称)西東京市リサイクルプラザ中間報告について
会議資料の名称	
記録方法	会議内容の要点記録

会議内容

発言者名：
発言内容

座長：

本日の議題はリサイクルプラザの事業・施設内容と西東京市リサイクルプラザ中間報告に向けての意見の集約について議論を行います。事務局より資料13についての説明をお願いいたします。

事務局：

資料13について説明をいたします。今までに提出していただいたアイディアシート、2回の視察、車中でお話のあったことを項目で整理したものである。中間報告に向けて意見をまとめるということなのでこれを少し膨らませながら、足りない部分についての意見をお聞かせいただければと思います。その他に参考資料ということで廃棄物減量推進審議会答申「(仮称)リサイクルプラザ構想に伴う施設内容について」の中から抜粋して取りまとめたものを用意しました。又、環境問題について市民や地域全体で考え行動できるような環境学習の推進や環境保全活動を支援する拠点、計画学習の拠点とされていること、これらの経過と再確認を含めて資料として提出させていただきました。

資料13については、皆様の意見をまとめたものですので、補足等についてはそれぞれお願いしたい。

総括的な考え方としては、環境保全に関する情報提供や学習活動の支援を通じ、知る、考える、行動するにつながる意識の向上を図る。

- 1、子供から大人、高齢者までの多くの地域の住民が参加・利用・集える施設。
- 2、専門的により深く学習したい人にも応えられるような事業の実施、情報提供や支援。
- 3、単なる展示だけの中途半端ではなく楽しみながら体験や実践につながる事業や設備の充実。
- 4、人材の確保、企画運営にあたっては利用者、市民の意見を取り入れる工夫が必要。建物については、子供から大人、高齢者までの住民の方が集える建物で暖かい雰囲気、ユニバーサルデザイン、託児、幼児スペース、環境に配慮した循環型社会のモデルとなる建物

事業及び設備については、

- 1、リサイクルとしての事業で事業例としてはエコクッキング、不要品のクラフト、工作、衣料等のリフォーム、フリーマーケット、リサイクルショップ、おもちゃの病院、施設設備としては、調理、工房、作業室、ショップスペース
- 2、環境配慮を行うことや循環型社会を啓発・実践するための事業
- 3、環境調査モニタリングの事業
- 4、市民活動や学校教育への支援事業
- 5、環境情報の収集・提供の事業

以上がまとめたものである。

座長：

座長より別にまとめた資料の説明

西東京市リサイクルプラザ、アイデアその2について説明

これはごく最近まとめた資料であり、2回視察に行っているが視察を見て感じたことは、どうもうまく機能していない感じがする。メンテナンスにお金がかかり年々すたれてきたのではないか。ハード面については、ガチガチにならずソフト面の充実が必要である。

ソフトとしては、6項目あり

- 1、地域における環境パフォーマンス、評価プログラムの企画・実施
環境庁ですでにガイドラインが策定されており特に事業者の環境、評価プログラムで環境ISOマネジメントシステム、環境会計、環境報告書、環境コミュニケーション等を含めて事業者の環境パフォーマンス評価を行う。最初から行うのは大変なので簡易マネジメントの実施、方向性としてはこれくらいは実施したい。
- 2、これも視察の反省からでたもので1個所で一方的に講座形式で啓発学習とか、環境学習を提供する学習のあり方は時代遅れであり、積極的に地域外に出て、環境学習フィールドを活用して、現場の視察や体験学習を行う。リサイクルの現場、ごみの埋め立て地、自然エネルギー施設の視察、それにとどまらず、エコツアー、植林体験、就農体験など総合的な環境学習の実践、さらに1個所にとどまらず広い範囲で、教育機関、企業、地域とのパートナーシップを推進していく。
- 3、西東京市の環境保全、アメニティ保全、景観保全のために、合併記念公園、東大農場等を利用し、ウォッチングをしながら環境学習を行う。
- 4、一般的環境学習や意識啓発学習にとどまらず、より専門的環境学習や事業の実施、また産・学・官との共同研究を企画したり実施を行う。

5、環境コミュニケーションによって市民の環境に対する意識の向上を図る。

6、今後の課題として何のために税金をかけてリサイクルプラザを建てるのか、環境学習やプロジェクトの実践を通して環境に負荷をかけない地域社会、地域循環型社会の実現のため市民の意識の向上を図る。環境だったら西東京市というここまで視野に入れて環境への総合的な取り組みを行うための拠点機能の可能性について検討する。

座長：

2回視察を行っておりますが皆様のご意見はいかがでしょうか。

委員：

多摩市の方は缶のリサイクルとかがあって、新しい建物なのに古物をただ並べて置くだけなので、配置をきれいにしないと売れない。

タンスもたくさんあるので並べたい気持ちはわかるけど。

地下のホールも閑散として、いろいろと工夫が必要であり、だんだんとすたれてしまう。

委員：

板橋区の資料の中に大型家具などは展示をしないで情報の提供のみを行う方法は場所を取らなくて良いのではないか。

委員：

市民参加型ということで場所の提供をもらう販売方式、フリーマーケット方式も良いと思う。

委員：

他市と同じくらいの面積でも当市の場合はごみ減量推進課の事務所が入るので広さ等も違ってくるのではないか。

座長：

市民懇談会の意見としては、市民の要望するものを最大限入れて考えてほしいとの事なので実現するかいなかに関わらず考えてほしい。

委員：

多摩市は設備が充実している割に人がいないし、又運営が大変だと感じた。タンス、鏡台その他いろいろあるが積極的に売ろうとしているのか、あるいは陳列が目的なのか良く分からない。出す人がいて、直す人がいて市民に使用してもらいたいならそれなりの工夫が必要である。

委員：

シルバー人材センターが入れば大型家具が陳列されることになり、今、市民は大型家具を求めている。ニーズを十分把握する必要がある。

委員：

旧田無市においては、無料で提供していたが倍率は高かったのでしょうか。

委員：

シルバーセンターも最初はきれいで、住民がほしがるものも多数あったが現在は仕事場という感じなので求めたい気持ちにならないのではないか。

委員：

一般市民としては環境のことだけではその施設に魅力を感じないのではないか。何か別の方法で集客する必要がある。例えば子供を遊ばせる施設、高齢者の憩いの場があるとかで、そこで分別の仕方とか、環境の勉強等ができればいいのではないか。

建物はすばらしかったのですがリサイクルの観点から見るともっと徹底すべきではな

いか。展示などは専門的な知識を持った人や市民に解かりやすい展示方法等が必要である。

委員：

月に幼児、子供、高齢者の日等を決めて魅力あるプランを立てる。

座長：

スペースが限られているのでそこですべて実施するのは難しい。環境学習にはいろんな方法があり、ハイキング、登山、ウォーキング等をしながらか地域を見直してみる、そういうソフト創り、整備ができれば良いのではないか。

委員：

合併記念公園等を活用した事業等で実践型の学習で継続的に続けていくことによりリサイクルプラザに来る人も根づいてくる。

委員：

燃えるごみの灰は再利用できないものか。

事務局：

基本的に日本の廃棄物処理方法は国土が狭いので燃やす方法を選択してしまう。日の出に最終処分場があるが16年間で満タンになってしまうので現在エコセメント化の事業があり、その施設が着工中である。

座長のまとめ：

皆さんの意見が多数出ましたので視察関係についてまとめたいと思います。

(1) リサイクル品の販売について意見が出ておりまして、大型家具の販売については必ずしも展示する必要はないのではないかと。倉庫等があればそこに置いて、情報の提供を行う。

(2) ディスプレイの方法ですが、明るくデザイン性まで考慮して行う。経営というか、マネージメントまで考えて販売する。

(3) フリーマーケット方法による販売

(4) リサイクルプラザなのでエコセメント化等があるが事務用品等可能な限りリサイクル品を使用する。

(5) 人集めに関しては1個所では難しいので積極的、継続的に実践的活動を地道に行う。将来的には家庭版ISO、環境省ガイドラインが策定されると各自の家、事業所との学習リレー等ネットワークが構築できれば日本で初めての試みとなる。

事務局：

展示関係で確認しておきたいことは、ある程度の展示スペースは必要であり、特に高齢者の方は色合い、大きさ等を見て購入する方法だと考えられるので画面や紙面による情報だけで購入できる人は少ないのではないかと。倉庫みたいに積み上げていたら売れないし、ディスプレイが重要である。又市民の皆さんにいかにか「ごみ」にしないで使用していただけるかがリサイクルの精神であり、家具屋さんの販売とは違うのではないかとと思われる。現在のシルバーセンターは修理と販売が一緒になっており購入しづらくなっている。

展示方法やシーズンごとの販売、ローテーションを考え一定の展示スペースがありディスプレイの感覚を持ていただければ良いのではないかと。市民のニーズ、マネージメントを考慮した方法が大切である。

座長：

つぎに事務局から提出していただいた資料とアイディアその2について意見交換したい

と思います。

委員：

専門的な視点とか、より深い学習を組み入れたい。

委員：

出来合いの講座や教え込む講座は古い方式なので市民に広めようとするしっかりした仕組みづくり、受け入れ方が重要である。

委員：

環境についての実務経験を積めるような場があっても良いのでは。

委員：

エコクッキング事業を実施する事により小学生から大人まで、商品の購入から始まって最後の分別処理までの流れの中で環境学習を学ぶ事業や施設は必要である。

委員：

幼児、子供達が集まった時に安全で安心できる施設にしてほしい。

委員：地域的問題、交通の利便性等があるが1個所ですべての事を実施するのではなくて、場所は固定せず移動方式で事業を行い地域の人が参加しやすい環境づくりが必要である。

委員：

建設場所が3.2m道路と面しているので大気汚染をソフト面に入れてほしい。

事務局：

どの程度の観測装置が必要かが課題ではあるが東京都関係の装置が市内にあり、そういった物との対比、或いはボランティアで簡易測定が行われるのでその支援ができれば良いと思う。

委員：

リサイクルにお金がかかるという事ですが、これからは正しい情報を市民に伝え、参加してもらい、基本はごみを出さない、きちんと分別することにつながるので正確な情報を提供する。

事務局：

市民の皆様が集めた古紙類が地域にどのくらい還元されているのか（例えば集団回収が1k4円）等について、今後は宣伝していきたい。

委員：

昔と今が対比できるような環境の展示等をしたらどうか。

委員：

講座を開く事、人集めが優先されがちですが、参加した人の感想、意見等を累積して社会に伝えていくことにより企業にも影響が出てくる。

座長：

いろいろと皆さんの意見がでましたので、突き合わせをしたいと思います。

座長：

バイオシステムについてはメンテにお金がかかるが環境学習として体験できるものはないか。

座長：

幼児、託児スペースについてはいかがでしょうか。

事務局：

子供が安心して遊べる空間は必要である。

座長：

視察先には専門的な工房とか作業室があったが、専門的施設でなく多目的で利用できる施設で良いのではないか。又、工房とか作業室を多目的学習の一環としてやる場合は家電修理、おもちゃの病院は難しいのではないか。

事務局：

家電の修理は火災等の原因になるので十分な検討が必要である。おもちゃの病院などはシルバーの人にきてもらいイベント的に実施する事は可能である。

座長：

データをとりたい環境学習なども予算の範囲内でできるように検討事項としてほしい。

事務局：

ここでだいぶ内容が見えたので建設関係についてですが、建物は2階建てしか建たないので、市民の方が2階にあがる場合とごみ減量推進課があがる場合とがあり、市民の方が1階の方が良いという事であれば1階集中型でレイアウトしたい。

基本的には市民の方が利用しやすい物を1階に設置する事でよろしいですね。

座長：

屋上の緑化とか気象観測装置ができた場合の見学視察等はどうなるのでしょうか。

事務局：

屋上の緑化は公共機関なので実施しますが見学等は安全面から考えると難しいと思われる。

座長：

エレベーターやスロープの話がありましたがこれはどうなんでしょうか。

事務局：

2階にスロープがあった場合は身障者用設置基準があり又、ユニバーサルデザインから言うと誰にもやさしくなければならぬので大変厳しいと思う。2階に行くにはエレベーターしかないので、それにより費用が違ってくる。

座長：

再度確認しますが1階に何が、2階に何が入るのでしょうか。

事務局：

面積が限られているので1階はごみ減量推進課の事務所、家具の展示場、現業については1階でも2階でも良いが、現業を1階にすると皆さんの考えられたものが2階になる。2階になるとエレベーター設置等が必要になり面積も縮小される。これについては今後検討していきたいと思います。

事務局：

今後のスケジュールについて、座長から出された資料と今日の意見等をまとめ、懇談会としての中間まとめ案として作成して提出させていただきます。

それを4月の市民懇談会の中でまとめていただき、それに市の考えも入れて図面化されるとより具体化されてくる。

座長：

次回の日程が3回まで決まっていますがいかがでしょうか。

事務局：

4月までに中間のまとめをいただきたいと考えています。その後は業者に実施設計をし、皆さんには基本設計の案まで作成していただきます。

座長：

それではこのような日程を進めていきたいと思います。
本日これで閉会とします。